



設置場所の準備およびメンテナンス記録

この付録では、Cisco Nexus 6000 シリーズ スイッチの設置時に情報記録用として使用できるログシートを示します。

この付録は、次の項で構成されています。

- 「設置環境チェックリスト」(P.G-1)
- 「担当者および設置場所の情報」(P.G-3)
- 「シャーシおよびモジュールの情報」(P.G-4)



(注)

スイッチの設定情報を確認する方法については、該当する Cisco Nexus 6000 シリーズ CLI コンフィギュレーションガイドを参照してください。

設置環境チェックリスト

スイッチを正常に稼働させ、適切な通気を保持し、作業を容易にするには、装置ラックまたはワイヤリングクローゼットの設置環境を整え、配置を決めることが重要です。表 G-1 を参照し、Cisco Nexus 6000 シリーズ スイッチを設置する前に準備作業を完了しておくことを推奨します。

設置場所に必要な空調要件を決定するときには、熱放散を考慮してください。環境要件については表 B-3 (P.B-2) を参照し、電力および発熱量の定格値については「電力仕様」(P.B-2) を参照してください。

表 G-1 設置環境チェックリスト

作業番号	準備作業	確認者	時間	日付
1	設置場所の確認 <ul style="list-style-type: none"> • 広さおよびレイアウト • 床の表面仕上げ • 衝撃および振動 • 照明 • メンテナンス作業の容易さ 			
2	環境の確認 <ul style="list-style-type: none"> • 周囲温度 • 湿度 • 高度 • 空気の汚染 • エアークロー 			
3	電源の確認 <ul style="list-style-type: none"> • 入力電源のタイプ • 電源コンセント¹ • 電源コンセントと機器の距離 • 電源モジュール用の専用回路 • 冗長電源モジュール用の専用（個別）回路 • 電源障害時用の UPS² 			
4	アースの確認 <ul style="list-style-type: none"> • 回路ブレーカーの容量 • CO アース（AC 電源システム） 			
5	ケーブルおよびインターフェイス機器の確認 <ul style="list-style-type: none"> • ケーブルタイプ • コネクタタイプ • ケーブルの距離制限 • インターフェイス機器（トランシーバ） 			
6	EMI ³ の確認 <ul style="list-style-type: none"> • 信号の距離制限 • 設置場所の配線 • RFI⁴ レベル 			

1. シャーシに搭載した電源モジュールに、専用の AC 電源回路が用意されていることを確認してください。

2. UPS = Uninterruptible Power Supply（無停電電源装置）。

3. EMI = Electromagnetic Interference (電磁干渉)。
4. RFI = Radio Frequency Interference (無線周波数干渉)。

担当者および設置場所の情報

次のワークシート (表 G-2) に、担当者および設置場所の情報を記録してください。

表 G-2 担当者および設置場所の情報

担当者	
担当者の電話番号	
連絡先 E メール	
建物および設置場所の名称	
データセンターの位置	
設置フロアの位置	
住所 (1)	
住所 (2)	
市町村	
都道府県	
郵便番号	
国	

シャーシおよびモジュールの情報

次のワークシート（表 G-3 および表 G-4）に、シャーシおよびモジュールの情報を記録してください。

契約番号 _____

シャーシのシリアル番号 _____

製品番号 _____

表 G-3 ネットワーク関連情報

スイッチの IP アドレス	
スイッチの IP ネットマスク	
ホスト名	
ドメイン名	
IP ブロードキャスト アドレス	
ゲートウェイおよびルータのアドレス	
DNS アドレス	
モデムの電話番号	

表 G-4 モジュールの情報

スロット	モジュール タイプ	モジュールのシリアル番号	メモ
1	スーパーバイザ		
2			